

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 軌道修繕費 材料費	29

(1 事業目的・内容)

軌道施設の部材を購入する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 軌道修繕 部品材料 施設区	29

中期経営計画 ー

(1 事業目的・内容)

緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)

前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 軌道修繕 部品材料 川和施設区	29

(1 事業目的・内容)

緊急の軌道修繕に必要な部品・材料を購入するため川和保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

前渡資金が有れば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、井坂

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	863,102	733,144	129,958

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料補充	234,195

(1 事業目的・内容)

- (1)レール購入 (債務負担設定あり)
平成31,32年度レール交換事業で使用するレールを購入します。
レール交換延長増に伴い、購入金額が増加しています。
基地に使用する40Nレールについて、製造の関係上、債務負担設定をしています。
- (2)マクラギ購入
平成31年度軌道整備事業で使用するマクラギを購入します。交換延長が増えたため、購入金額が増加しています。
- (3)締結装置購入
平成31,32年度締結交換事業で使用する締結装置を購入します。
30年度までは以前の工事不調分の在庫を使用していましたが、31年度以降不足が見込まれるため、昨年度予算と比較して、購入数量及び金額が増加しています。
- (4)分岐器ほか購入
平成31年度レール交換事業で実施するあざみ野のトングレール及びクロスシングを購入します。
上永谷車両基地分岐器交換事業分の7番片開き分岐器(#99)の購入します。
また伸縮継目、接着絶縁についても31年度に購入します。
- (5)軌道用品一式購入
直営作業用の継目板や犬釘といった軌道用品を購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	183,630	234,195				
債務負担設定	0					

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所 属：施設課	
節・細節：31 軌道修繕費			担当者：内田、岩崎	

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

2 軌道整備

(1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかります。すると、軌道に変位が生じ、そのまま放置しておくと、軌道部材(レール等)の歪みや劣化が早くなり、列車走行に支障をきたす恐れがあるばかりでなく、軌道材料の交換周期が短くなることとなります。そこで、軌道の変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

・軌道整備工Ⅰ(マルタイによる突き固め整備) 7,963m

軌道整備工Ⅰの施工区間には、急曲線部分で定期的(3年毎)に施工する区間と、10年計画にて全線突き固めが完了の区間と、軌道検測データ等により施工を決定する区間があります。
急曲線部分は、横浜駅～三ツ沢下町駅間、岸根公園駅～新横浜駅間の上下線となります。

・軌道整備工Ⅱ(人力による突き固め整備) 2,430m

軌道整備工Ⅱの施工区間には、新羽、センター北、あざみ野の分岐器周り区間の突き固め(2年及び8年周期)及び、関内～伊勢佐木長者町の125R区間があります。

・軌道整備工Ⅲ(車両基地人力による突き固め整備) 1,597m

新羽車両基地の9年周期(H30年度上永谷基地まくらぎ交換分含む)部分の突き固めを行います。

・排水溝清掃工 2,894m

軌道の道床排水溝に滞積した遊離石灰や粉塵等による排水不良は、悪臭等の原因となるため排水溝を清掃し、駅的环境改善に努めます。

・道床清掃工 1,590m

軌道の道床に滞積した綿埃等による発煙や発火事故を抑止するため、清掃します。

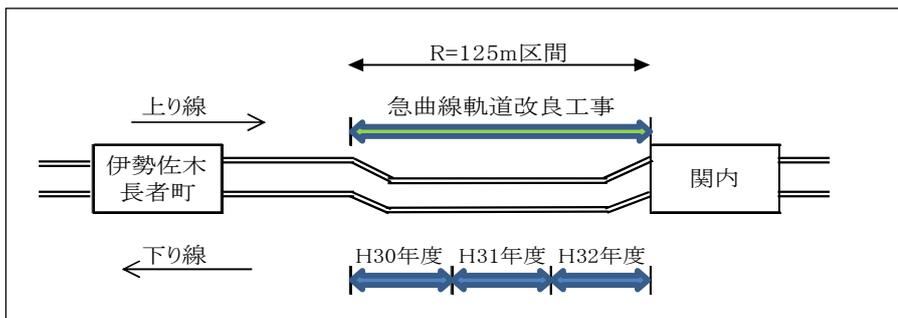
・道床補修工 1式

藤田駅付近(下り線)のコンクリート道床の一部において、劣化が激しいため補修します。

・道床及びまくらぎ交換工 1式

関内～長者町間の125R区間において、道床砕石(バラスト)の細粒化や固着が起きているため交換します。
また、道床交換に合わせ、損傷が進んでいるまくらぎについても交換します。
(下り線340mを3年間(H30年度～H32年度)で施工：H31年度=115m施工)
なお、上り線については現在、設計委託にて検討中の急曲線軌道改良工事を行います。

《125R区間 道床・まくらぎ 交換計画》



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	209,794					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 加藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
3 レール交換	253,120

(1 事業目的・内容)

- レール交換工 5736sm
 - ①レール交換の長期計画に基づき、レールの交換を行います。(4151sm)
 - ・下り 舞岡～踊場 1058sm ・上り 横浜～下町 883sm
 - ・上り 弘明寺～大岡 979sm ・上り 仲町～セ北 380sm
 - ・上り 弘明寺～港南 312sm ・上り 新羽～仲町 539sm
 - ②直営による巡回点検やレール検査等により損傷等が確認されているレールの交換を行います。(1585sm)
 - ③桜木町・高島町間(上り)軌道改良工事のレール交換工事。(2442sm)
 - ③あざみ野分岐部品交換工事
 - ・レール溶接
- 埋込栓補修工 50か所

(千円)				
事業費内訳	単価	数量	単位	金額
レール交換事業				
工事費				
①レール交換工		1	式	
②レール交換工		1	式	
③軌道改良分レール交換工(31年度)(諸経費・税込(8%))		1	式	
③あざみ野分岐部品交換		1	式	
レール溶接		1	式	
埋込栓補修工		50	か所	
軌道工事諸経費				
軌道工事計				
電気工事(諸経費含む)				
計				
消費税及び地方消費税額				
合計				253,120

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	192,160	253,120				
債務負担設定	40,628					40,628

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、後藤

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 締結装置交換	

(1 事業目的・内容)

・締結装置交換工 3,572m

締結装置は、バネ・ボルト・ゴム等で構成されている軌条部品です。レールとマクラギを締結する締結装置は、列車走行の繰り返し荷重を受けること、経年劣化による締結力不足により軌間拡大・縮小が発生し、限度を超えると列車の脱線事故に至るため定期的に交換を行います。また、漏水区間のような腐食環境にある締結装置は、電食による損傷が生じるため長期計画に則り締結装置の交換を行います。

施工場所	施工延長	締結種類
・蒔田～弘明寺(下り)	557m	・YS-1 557m
・弘明寺～上大岡(上り)	977m	・YS-1 640m・YS-3 337m
・弘明寺～上大岡(下り)	688m	・YS-1 688m
・仲町台～センター南(上り)	125m	・YP-1 125m
・仲町台～センター南(下り)	800m	・YP-1 800m
・塩害区間	425m	・YS-1 75m・YS-2 350m

<事業費内訳>

	締結種類別延長(m)				施工延長 (m)	施工金額 (千円)	(契約金額)
	YP-1	YS-1	YS-2	YS-3			
平成30年度	1,224	890	87	637	2,838	46,224	
平成31年度	925	1,960	350	337	3,572		
平成32年度	3,034	275			3,309		
平成33年度	2,651	275			2,926		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	56,170					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田、菊池	

(単位:千円)

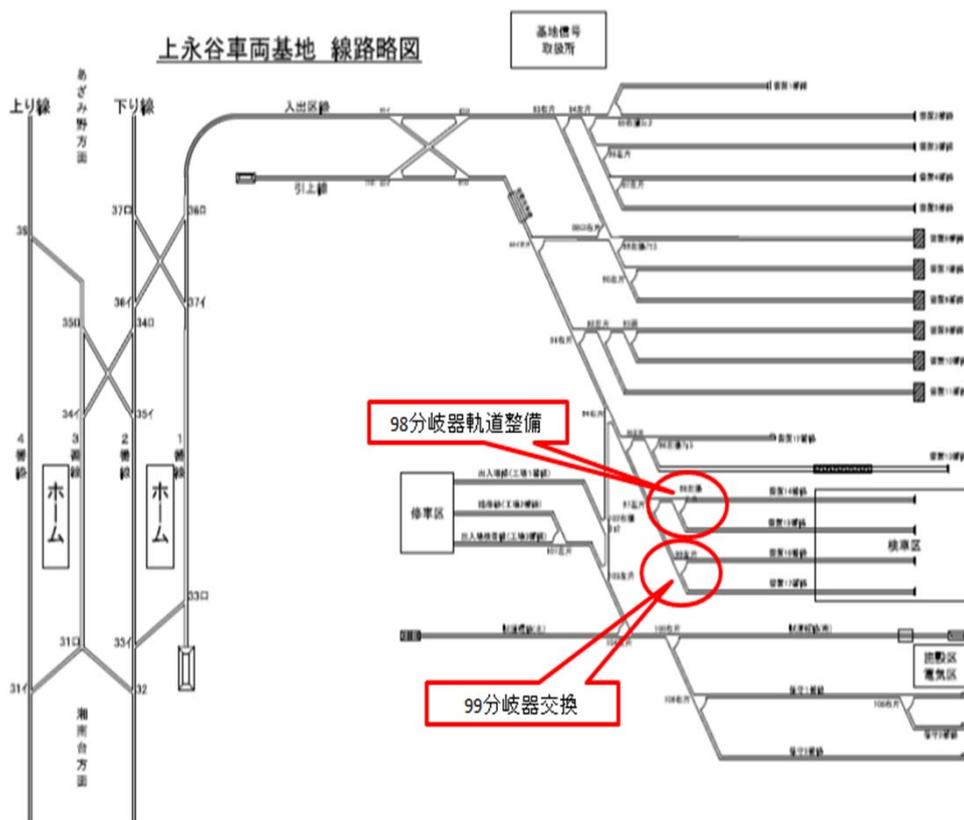
【事業内容】 31年度予算額

5 上永谷車両基地分岐器交換

(1 事業目的・内容)

上永谷車両基地内に設置されている老朽化した分岐器について、計画に基づき交換します。
また、前年度交換した分岐器部についても道床安定化のため、軌道整備を行います。

- ・分岐器99 : 分岐器レール類交換、道床交換、マクラギ交換、軌道整備
- ・分岐器98 : 軌道整備(H30年度交換箇所)



上永谷車両基地分岐器交換計画

年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度
交換分岐器	98番	99番	90番	86番	84番	94番	87番	85番

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	21,910					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：31 軌道修繕費	所属：施設課 担当者：内田、甲州

(単位：千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
6 レール探傷	

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部から亀裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。

そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及び亀裂状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (あざみ野～湘南台間上下線 延長 約81.2km)
牽引式超音波レール探傷器によりレールの損傷及び亀裂状態を測定します。

- ・レール探傷2次検査 30箇所
上記検査により異常箇所が発見された場合に、必要に応じて2次検査(詳細調査)を行います。
さらに、2次検査により損傷箇所があったと認められた場合には、直営により補強及び交換を行います。
また、危険箇所があった場合には、破断事故を未然に防ぐため、直営により重点監視を行います。

<事業費内訳>

(千円)

	H31	備考
レール探傷検査		
レール探傷1次検査		
レール探傷2次検査		
小計		
諸経費		
計		
消費税及び地方消費税額		税率10%
合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

30年度までは3年契約となっていたが、レール探傷検査は単年度で完結する業務のため、単年度契約に変更となりました。
線路の老朽化に伴い、2次検査の箇所数を例年より増やしました。
軌道構造の変化(分岐器の撤去等)に伴いレール探傷1次検査の施行延長を増やしました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	19,318					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
7 レール削正	

(1 事業目的・内容)

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸(波状摩耗)が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。
また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。
以上、お客様CS(乗り心地改善、騒音・振動対策)及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

- ・レール削正(5,000m)
車内環境改善及びレール延命(シェーリング箇所及び波状摩耗箇所)
お客様対応(振動・騒音対応)区間

<事業費内訳> (千円)

	H31	備考
レール削正		
レール削正		
諸経費		
消費税及び地方消費税額		税率10%
合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

溶接落ち削正はレール削正内で対応になりました

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	50,162					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田 井坂

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	101,861	88,752	13,109

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料補充	19,828

(1 事業目的・内容)

- (1)レール購入
分岐器交換に伴うレール交換に使用する材料を購入します。
- (2)分岐器トングレール購入
日吉の10番分岐器の修繕を行うためのトングレールを購入します。
- (3)摩擦調整材購入
現在グリーンラインに設置されている摩擦調整材塗布装置6台に使用する、摩擦調整材を72缶購入します。
- (4)軌道用品購入
レール交換に備えて段違継目板やライナーを購入します。
- (5)締結装置関係購入
RP締結装置改良工事で使用する、締結装置やレール交換に備えて、ステンレス付軌道パットを購入します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	21,321	19,828				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 31 軌道修繕費			担当者: 内田 後藤	

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
----------	---------

2 軌道整備

(1 事業目的・内容)

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかると軌道に変位が生じ、そのまま放置しておく軌道部材(レール等)の歪みや劣化が早くなり、列車走行に支障をきたす恐れがあるばかりか、軌道材料の交換周期が短くなるため、軌道変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

・軌道整備工(車両基地内人力による道床搗き固め整備)
軌道保守長期計画に則り、車両基地の約1/6を整備(道床搗き固め)します。

軌道整備工	30年度	31年度予定	32年度予定	33年度予定
直線・曲線部等(m)	421	542	380	380
分岐器(基)	2	4	4	4
施工延長(m)	500	550	500	500

(2 前年度から変更・見直した点)

予定の修繕工事完了により、修繕費減となりました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	16,501					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 31 軌道修繕費	予算科目 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	担当 所属: 施設課 担当者: 内田 加藤
---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

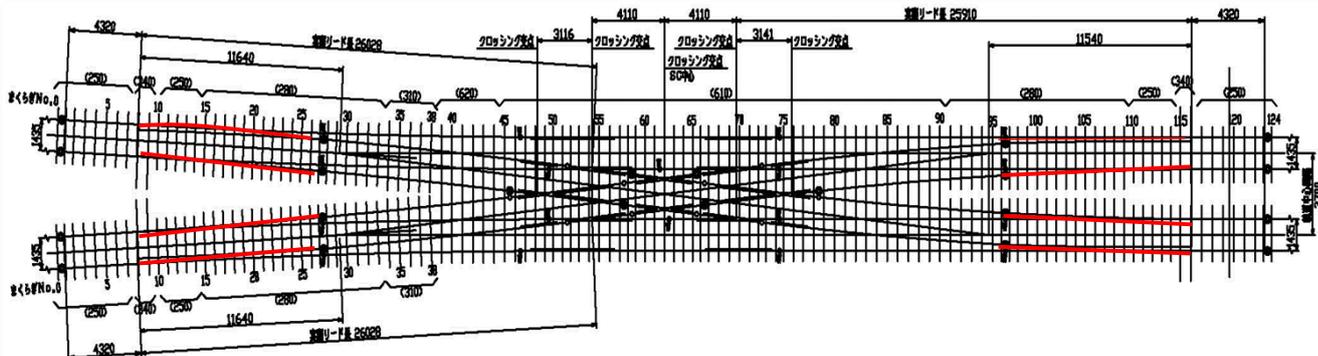
(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

3 レール交換

(1 事業目的・内容)

日吉の10番分岐器のトングレールの剥離が著しいため交換を行います。
このままの状態ですと大きな剥離に繋がり、他の軌道に車両を移すというトングレールとしての用途をなさなくなり列車運行にも支障をきたすためトングレールの交換を行います



日吉分岐器部剥離箇所



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：31 軌道修繕費	所属：施設課 担当者：内田、甲州

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 レール探傷	[Redacted]

(1 事業目的・内容)

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷したり、継目部から亀裂が生じたりします。また、漏水区間にあるレールは、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。そこで、このようなレール破断を未然に防ぐことを目的とし、レールの損傷及び亀裂状態を把握し、危険箇所の早期発見、重点監視及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レールの探傷を行います。

- ・レール探傷1次検査 (中山～日吉間上下線全線 延長 約25.6km)
牽行走行式超音波レール探傷器によりレールの損傷及び亀裂状態を測定します。
- ・レール探傷2次検査 10箇所
上記検査により異常箇所が発見された場合に、必要に応じて2次検査(詳細調査)を行います。さらに、2次検査により損傷箇所があったと認められた場合には、直営により補強及び交換を行います。また、危険箇所があった場合には、破断事故を未然に防ぐため、直営により重点監視を行います。

	H31	備考
レール探傷検査		
レール探傷1次検査	[Redacted]	
レール探傷2次検査	[Redacted]	
諸経費	[Redacted]	
計	[Redacted]	
消費税及び地方消費税額		税率10%
合計	[Redacted]	

(2 前年度から変更・見直した点)

30年度までは3年契約となっていたましたが、レール探傷検査は単年度で完結する業務のため、単年度契約に変更となりました。レール探傷2次検査を10箇所追加しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予算	33年度予算	34年度以降	総 額
事業費	6,094	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 31 軌道修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
5 レール削正	

(1 事業目的・内容)

レールと車輪の接触疲労等により、曲線部を中心にレール頭面にきしみ割れ(ひび割れ状の亀裂)が発生しています。このきしみ割れが成長することで、レールにはく離が生じ、騒音・振動が発生したり、レール破断につながる恐れもあります。上記の対策として、レール頭部を研磨・削正し、レールの凹凸及び疲労層を除去し、乗り心地改善や騒音・振動の改善及びレール損傷の抑制を行います。

削正延長(5,000m)

グリーンライン全線でレールきしみ割れの調査及び車内の騒音測定を行い、優先的にレール削正を実施する必要がある箇所を選定しました。安全運行維持及び車内環境改善のため、きしみ割れ区間の削正を行います。

<事業費内訳>

(千円)

	H31	備考
レール削正		
レール削正		
諸経費		
消費税及び地方消費税額		税率10%
合計		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

横浜高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	44,836					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 諸構築物繕費 材料費	29

(1 事業目的・内容)

構築施設の部材を購入する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	19	20	△ 1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】		31年度予算額
1	諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	19
中期経営計画		-
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金		
(2 前年度から変更・見直した点) なし		
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える		

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	10	10	0

<input type="checkbox"/>	ブルーライン
<input checked="" type="checkbox"/>	グリーンライン
<input type="checkbox"/>	共通

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 設備区	10
中期経営計画	—
(1 事業目的・内容) 緊急の諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金	
(2 前年度から変更・見直した点) なし	
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える	

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 諸構築物及び諸設備修繕 部品材料 川和施設区	29

(1 事業目的・内容)

緊急の諸構築物及び諸設備修繕に必要な部品・材料を購入するため川和保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

前渡資金が有れば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	252,680	270,553	△ 17,873

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料費	11,153

(1 事業目的・内容)

- ・桜木～高島間の軌道改良工事内で排水溝蓋撤去設置工に使用する材料の購入(500枚)
- ・トンネル内に敷設してある排水溝の蓋のうち、錆による腐食がみられるものを交換します。(直営分20枚)
- ・その他、諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。



排水溝蓋(アンチスリップ鋼板)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	22,853	11,153				34,006
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田・渡辺

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 構造物検査委託	78,421

(1) 事業目的・内容

- ・構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰを行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全性維持を行うことを目的に通常全般検査Ⅱ(状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・構造物を十分な照明を用いて入念な近接目視、打音検査等詳細検査を目的とした国土交通省通達の20年を超えない期間ごとに行わなければならない特別全般検査を5年計画で行います。
- ・下永谷・片倉・吉田町トンネルのクラック幅の測定を行い、トンネル変状の追跡を行います。

※平成31年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	1号線 関内～湘南台	十分な照明を用いての徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	1・3号線 湘南台～あざみ野	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の目視及び打音検査
山岳トンネルひび割れ測定	下永谷・片倉・吉田町トンネル	パイゲージ設置、クラック幅の測定、追跡調査

構造物検査計画表

	2年契約				2年契約				32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度					
複数年契約	24～25年度		26年度	27年度	28～29年度		30～31年度		32～33年度		34～35年度		36年度
■通常全般検査Ⅰ													
1号線(関内～湘南台間)		○		○		○		○		○		○	
3号線(あざみ野～関内間)	○		○		○		○		○		○		○
4号線(中山～日吉間)	○		○		○		○		○		○		○
CADデータ更新				○	○	○	○	○					○
■特別全般検査													
1号線(関内～湘南台間)				○	○	○	11.01km	17.93km					
3号線(あざみ野～関内間)				6.4km	10.12km	18.79km	○	○					
4号線(中山～日吉間)													
■通常全般検査Ⅱ(個別検査)													
1号線(関内～湘南台間)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3号線(あざみ野～関内間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4号線(中山～日吉間)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■通常全般検査Ⅱ(シールドキャップ)													
4号線(中山～日吉間)			○ ⑥		○ ①	○ ②	○ ③	○ ④	○ ⑤	○ ⑥	○ ①	○ ②	○ ③

特別全般検査 5年計画

- (2) 前年度から変更・見直した点
消費税率を8%から10%に変更

- (3) 根拠法令・規程、現場の意見等

- (4) 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	102,718	78,421				
債務負担設定	88,747					88,747

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 トンネル内測量委託	

(1 事業目的・内容)

- ・水準測量
高速鉄道構内に設置してある水準点(20~50m間隔)の測定を順次行います。
測定箇所:北新横浜~岸根公園
- ・内空断面測定
シールドトンネルの内空断面(50~100m間隔)を測定します。
測定箇所:大江橋シールド・平沼シールド・鶴見川シールド・宮元町シールド・片倉山岳トンネル

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
■水準測量											[測量頻度]
③北新横浜~岸根公園間(特1)		●		●		●		●		●	1回/2年
①③横浜~長者町間(特2)	●		●		●		●		●		1回/2年
③あざみ野~北新横浜間(A)				●				●			1回/4年
③岸根公園~横浜間(B)				●				●			1回/4年
①長者町間~戸塚間(C)	●				●				●		1回/4年
①戸塚~湘南台間(D)	●				●				●		1回/4年
④中山~日吉間(E)	●				●				●		1回/4年
■内空測定											
③大江橋シールド		●		●		●		●		●	1回/2年
③平沼シールド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1回/1年
③鶴見川シールド		●		●		●		●		●	1回/2年
①宮元町シールド	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1回/1年
①関ノ下シールド	●				●				●		1回/4年
④駒林シールド	●				●				●		1回/4年
④高田西シールド	●				●				●		1回/4年
③片倉山岳トンネル	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
①下永谷山岳トンネル	●										

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・測量ピンの撤去設置を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	32,271					
債務負担設定						

予算科目 款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当 所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺
---	--	--	-----------------------------

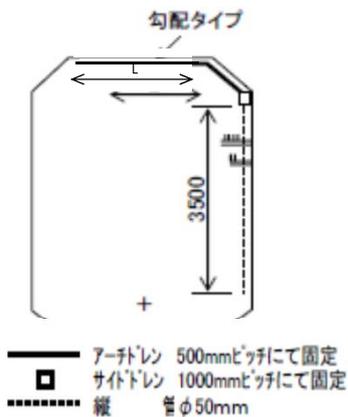
(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

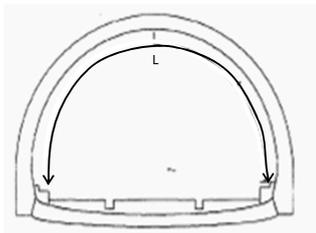
4 漏水補修工事

(1 事業目的・内容)

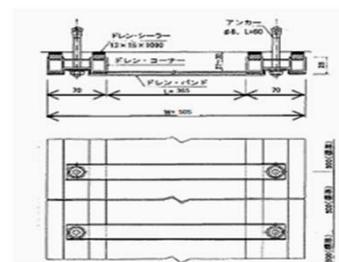
土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



開削トンネル断面図



山岳トンネル断面図



受け樋標準図

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	76,496					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

5 鋼構造物塗装工事

(1 事業目的・内容)

鋼板や鋼構造物において、表面の塗装が劣化することによる鋼材の腐食等を防ぐため、塗装の塗替えを実施します。

○補修工事



▲関内・長者町ケーソン耐震鋼板 上り



▲関内・長者町ケーソン耐震鋼板 下り

(2 前年度から変更・見直した点)

消費税率を8%から10%に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	28,244					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：施設課 担当者：廣田・渡辺

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

6 モルタル撤去工事

(1 事業目的・内容)

開業後35年以上経過している横浜～上永谷間を中心として、中間杭跡などの小規模な浮き及び剥離を生じている箇所について、剥落による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。
そのため、浮き及び剥離箇所を抽出し、計画的に断面補修を行います。



中間杭跡

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	3,221					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
7 諸構築修理	4,750

(1 事業目的・内容)

地下鉄の安全運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木建造物の修理を緊急に行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	4,750	4,750				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課	
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当者: 廣田・渡辺	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
8 新羽出入庫線ほか高欄目地補修工事	

(1 事業目的・内容)

平成29年度に北新横浜駅～新羽駅間で目地材が落下した事象があり、その後施設区の緊急点検を実施。その後は定期的な点検を行っているが、年数が経過することにより目地材が劣化し落下の危険性があるため、補修工事をします。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

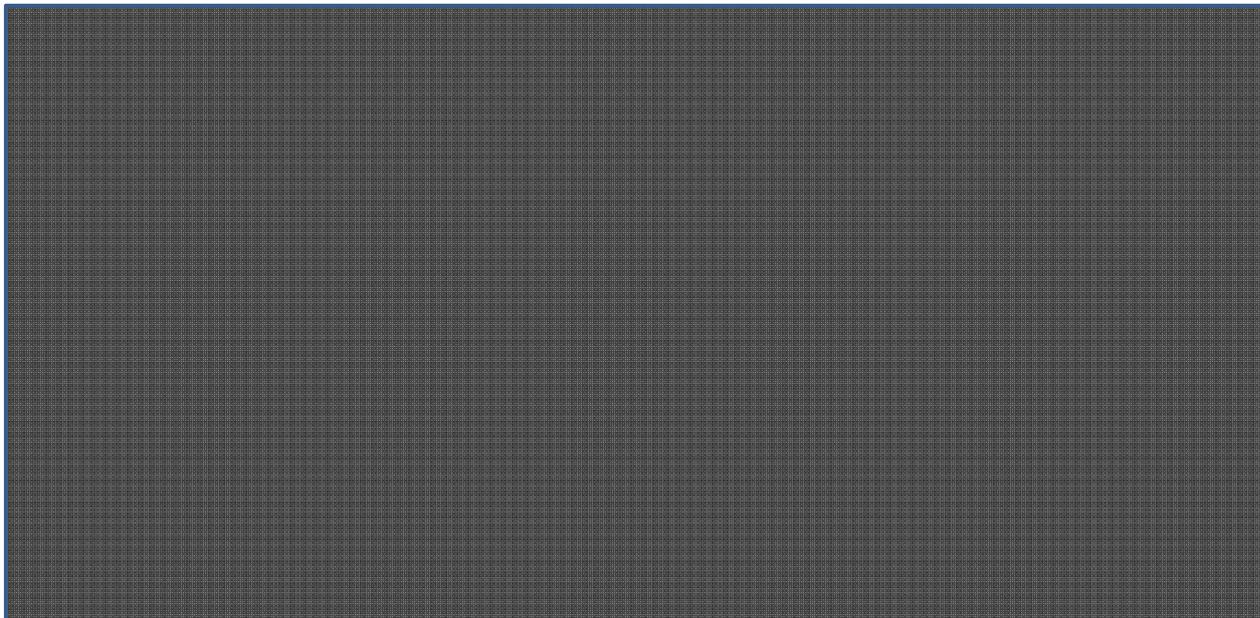
(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

9 日野ずい道坑口部フェンス設置工事

(1 事業目的・内容)

日野ずい道上部に上れる鉄道施設維持管理用階段に、立入防止柵及び門扉の設置を行うものです。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田・渡辺

(単位：千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
10 中川駅開口部防塵ネット設置工事	

(1 事業目的・内容)

中川駅端部に設置されている開口部には、現在、軌道上への転落防止のため金網が設置されているが、金網の目が粗く、落ち葉等のごみが金網をすり抜け、軌道の上に積もっている状況である。

新羽保守管理所では定期的に清掃を行っているが、落ち葉等が第三軌条に触れ、ボヤが発生したこともあるため、目の細かい金網を設置し、軌道上へのごみの堆積を防止する。



開口部全景



開口部の様子

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・新規事業

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・新羽保守管理所から設置要望あり

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

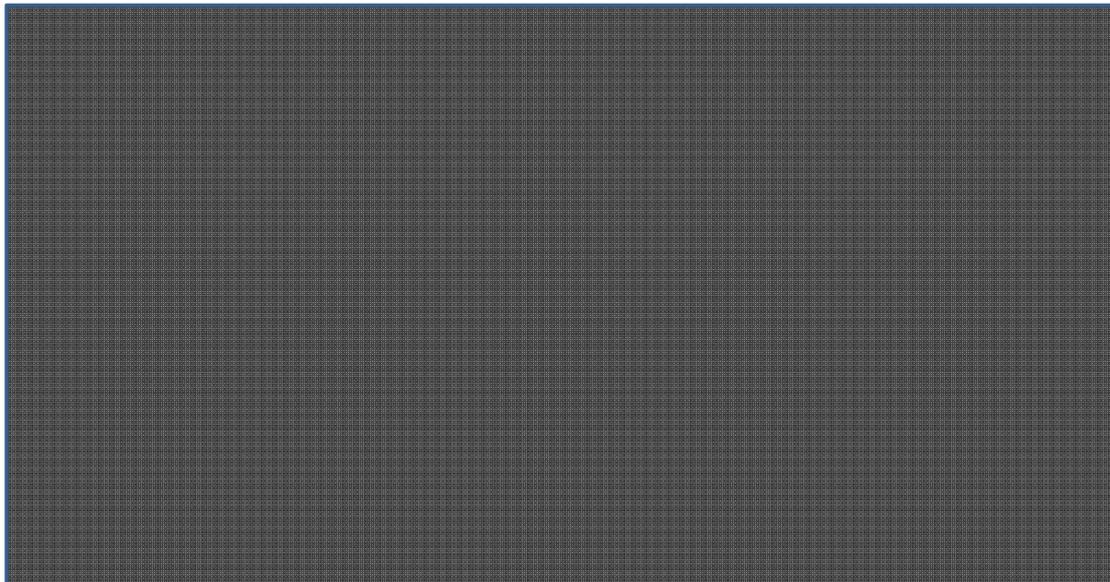
(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

11 花咲町ずい道換気塔外壁補修

(1 事業目的・内容)

花咲町ずい道換気塔を合築している建物の所有者が外壁補修を行うため、協定に基づき当局所有分を負担します。



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	21,481	91,026	△ 69,545

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料費	95

(1 事業目的・内容)

・その他、諸構築物の維持管理に必要な材料費を計上します。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	341	95				436
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属：施設課 担当者：廣田・渡辺

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 構造物検査委託	8,714

(1 事業目的・内容)

- ・構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰを行います。
- ・車両天井部にコンクリート片の落下が発見されたことを受けて、今後一層の列車運行の安全性維持を行うことを目的に通常全般検査Ⅱ(状態の悪い箇所)を毎年実施します。
- ・構造物を十分な照明を用いて入念な近接目視、打音検査等詳細検査を目的とした国土交通省通達の20年を超えない期間ごとに行わなければならない特別全般検査を5年計画で行います。
- ・4号線シールドトンネルのシールドキャップを近接目視・打音検査を行い、緩みの確認を行います。

※平成31年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅱ	4号線 日吉～中山	前回の検査時の結果に基づき必要な箇所の入念な目視及び打音検査
シールドキャップ点検	高田ずい道、東山田ずい道	目視及び打音検査を行い、緩みの確認

構造物検査計画表

	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度		33年度		34年度		35年度		36年度		
	24～25年度		26年度		27年度		28～29年度		30～31年度		32～33年度		34～35年度		36年度												
■通常全般検査Ⅰ																											
1号線(関内～湘南台間)		○																									
3号線(あざみ野～関内間)	○																										
4号線(中山～日吉間)	○																										
CADデータ更新																											
■特別全般検査																											
1号線(関内～湘南台間)																											
3号線(あざみ野～関内間)																											
4号線(中山～日吉間)																											
■通常全般検査Ⅱ(個別検査)																											
1号線(関内～湘南台間)																											
3号線(あざみ野～関内間)																											
4号線(中山～日吉間)																											
■通常全般検査Ⅱ(シールドキャップ)																											
4号線(中山～日吉間)																											

シールドキャップ点検計画

ずい道名	起点	終点	延長	番号	点検年度
日吉ずい道	0k940	1k392.5	440.5	②	29年度
日吉本町ずい道	1k511.5	2k653	1141.5		
高田ずい道	2k761	4k101.5	1340.5	⑥	26年度済
東山田ずい道	4k427	5k558	1131	③	30年度
北山田ずい道	5k678	7k077	1399	④	31年度
茅ヶ崎ずい道	8k416	9k501	1085	⑤	32年度
青砥町ずい道複	11k976	12k811	835	①	28年度
		計	7372.5		

特別全般検査 5年計画

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	14,006	8,714				
債務負担設定	12,101					12,101

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
3 トンネル内測量委託	

(1 事業目的・内容)

- ・富士見が丘擁壁測定
都筑ふれあいの丘・川和町間のトンネル地上部にある富士見が丘擁壁に変状の追跡調査を目的とし、計画的に(1回/年)測量を実施します。測点数20か所



(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	23,373					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

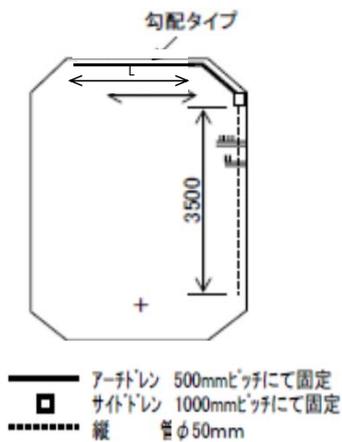
予算科目 款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			担当 所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺
---	--	--	-----------------------------

(単位:千円)

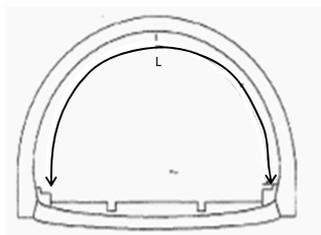
【事業内容】 4 漏水補修工事	31年度予算額
--------------------	---------

(1 事業目的・内容)

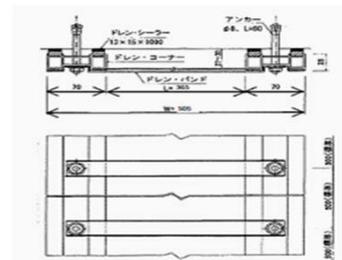
土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。そのため、設置後概ね20年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。



開削トンネル断面図



山岳トンネル断面図



受け樋標準図

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総額
事業費	9,976					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費	所属: 施設課 担当者: 廣田・渡辺

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 諸構築修理	1,900

(1 事業目的・内容)

地下鉄の定期運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木建造物の修理を緊急に行います。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,900	1,900				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 事業開発課 担当者: 田中、斎藤、石黒、田中、小林

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	19,536	11,220	8,316

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 高速鉄道事業会計店舗施設等修繕費	1,568
(1 事業目的・内容) 高速鉄道事業会計で設置した交通局財産については、交通局が修繕する必要があります。更新時期をむかえた設備が増えてきており、その中で主に店舗等が使用している設備(建具、冷暖房設備など)や店舗内での漏水対応については、有効活用が継続できるよう、年間を通じた修繕を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 年次表)	
	(単位:千円)
	31年度予算額
	1,568
	3,188

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 センター南駅店舗用設備修繕費	[REDACTED]
(1 事業目的・内容) センター南駅については、店舗運営にかかる局財産の設備を、横浜交通開発が維持管理しております。耐用年数を超過している設備も多く、設備不良が多くみられることから、優先度の高いものから設備修繕を行います。	
(2 前年度から変更・見直した点)	
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)	
(4 年次表)	
	(単位:千円)
	31年度予算額
	[REDACTED]
	[REDACTED]

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	29	30	△ 1

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】		31年度予算額
1	建物修繕 部品材料 設備区	29
中期経営計画		-
(1 事業目的・内容) 緊急の建物修繕に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金		
(2 前年度から変更・見直した点) なし		
(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等) 前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える		

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	749,154	793,308	△ 44,154

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料補充事業(営繕分)	1,679

(1 事業目的・内容)

ブルーラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。

【主な補充材料】

蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1,867	1,570	1,378	2,128	1,679
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	2,022	1,679				3,701
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 材料補充事業(機械分)	2,170

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各種設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。

※購入機材：お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等

各年度実績表

平成29年度	平成30年度	平成31年度
2,132	2,132	2,170

※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,132	2,170				4,302
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 駅施設等建築修繕工事	28,358

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・2車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
13,676	13,913	15,465	14,692	
※実績	※実績	※実績	※予算	

【駅施設等修理(1件修理)】

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・3車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	1件修理
4,166	6,672	1,308	3,294		
※実績	※実績	※実績	※予算		

30年度	31年度	駅評価対応
9,940		
※実績		

項 目	H31年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	28,358

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	17,986	28,358				46,344
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】 31年度予算額

4 サイン等製作及び設置業務委託

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、盤面の製作、貼付け等の業務委託を行います。

(千円)

	H30	H31
BL	2,494	
GL	831	
計	3,325	

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	2,494					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 漏水受樋取付工事	

(1 事業目的・内容)

地下駅や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

28年度	29年度	30年度	31年度
10,782	10,770	10,601	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	10,601					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
6 竖排水管清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための竖排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。
このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

28年度	29年度	30年度	31年度
2,546	2,690	2,797	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,797					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
7 駅施設等屋根清掃委託	

(1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

[委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

28年度	29年度	30年度	31年度
565	614	1,086	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	1,086					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
8 自動ドア点検業務委託	1,628

(1 事業目的・内容)

ブルーライン26施設56か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
/	/	1,112	1,582	1,628
		※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	1,582	1,628				3,210
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
9 駅施設シャッター修理	3,487

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・8変電所・2車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
3,767	3,837	3,890	2,775	3,487
※実績	※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	2,775	3,487				6,262
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

11 駅施設シャッター等保守点検委託

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各施設(32駅・8変電所・2車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項 目	点検回数	H31予定数量
シャッター	年1回	562か所
電動トップライト	年1回	3か所
防火戸	年1回	80か所
垂れ壁	年1回	86か所
排煙オペレーター	年1回	244か所

(2 前年度から変更・見直した点)

防災設備保守委託事業からシャッター等保守点検委託を分け、予算要求。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	0					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
12 新羽駅ほか改修工事	149,294

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて平成30年度に設計を行い、平成31年度に工事を行います。

○改修内容

- ① あざみ野駅第1出入口上屋改修工事
- ② 新羽駅鉄骨塗装工事、ハト除けネット撤去・新設、鉄筋爆裂補修
- ③ 北新横浜駅幕板改修工事
- ④ 片倉町駅消防隊進入口、鉄骨らせん階段塗装
- ⑤ 横浜駅床滑り止め
- ⑥ 港南中央駅鳥害対策(第2出入口)
- ⑦ 舞岡駅EV建屋防水改修
- ⑧ 新羽保守管理所屋上防水工事、天井養生ネット設置
- ⑨ 上永谷車両基地修繕工場水圧解放シャッター制御盤更新
- ⑩ 最戸変電所外壁補修、屋上防水
- ⑪ 笹下変電所外壁補修、屋上防水工事

	H30	H31
設計	13,932	-
工事	-	149,294

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費		149,294				149,294
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

13 片倉町駅ほか改修工事(設計)

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて平成31年度に設計を行い、平成32年度に工事を行います。

○改修内容

- ①片倉町駅出入口床・階段湧水対策
- ②弘明寺駅案内所塗装
- ③舞岡駅腰壁下地鋼材腐食対策(第1・2出入口)、建具更新(案内所扉)
- ④下飯田駅コンコース塗装・屋上防水更新
- ⑤上永谷屋根補修
- ⑥仲町台駅滑り止め
- ⑦三ツ沢変電所フェンス・屋外階段更新
- ⑧蒔田変電所外壁補修
- ⑨関内駅建具更新(第2換気機械室、事務所通用口)
- ⑩高島町駅建具更新(ゴミ集積庫)
- ⑪伊勢佐木長者町駅建具更新(消防隊進入口)
- ⑫踊場駅建具更新(冷却塔置場)
- ⑬片倉中間換気所建具更新(地上扉)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
14 建具更新工事	

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可能となった箇所の更新を行うものです。

【更新履歴】

年度	該当施設	か所数	金額(千円)	備考
28	上大岡駅、吉野町、新羽駅	4	4,325	実績
29	新横浜駅、新羽駅、新横浜中間換気所	5	5,154	実績
30	横浜駅、伊勢佐木長者町駅、戸塚駅、港南中央駅、舞岡駅、篠原中間換気所、大江橋中間換気所	9	10,218	予算
31	関内駅、高島町駅、伊勢佐木長者町駅、舞岡駅、踊場駅、片倉中間換気所	7		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	10,218					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当	
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課	
節・細節: 33 建物修繕費			担当者: 倉本、三宅、森	

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

16 自動ドア駆動装置更新工事

(1 事業目的・内容)

多機能トイレ等に設置してある自動ドアは、「公共交通機関の旅客施設に関する移動円滑化整備ガイドライン」の考え方により設置しています。毎年定期点検を実施していますが、経年劣化による不具合の発生箇所がありその都度、調整や応急処置を行っています。しかし設置から約15年たちメーカーの交換推奨時期(10年)を経過しているため、モーター(ドアエンジン)、コントローラー、ハンガーレール、ドアセンサー等駆動装置一式を更新し安全な開閉と長寿命化を図ります。

平成31年度は高島町駅1台、桜木町駅1台及び上永谷修繕工場2台を更新します。

	H30	H31
施設名	下永谷(2)	高島町(1)
	長者町(2)	桜木町(1)
		上永谷車両工場(2)
数量(台)	4	4
	3,107	

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	3,107					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
17 新横浜駅改良工事(タイル補修工事)	

(1 事業目的・内容)

新横浜駅では、神奈川東部方面線との接続により、利用する旅客数や流動、周辺地域などにおいて大幅な変化が予想されます。本工事は、このような神奈川東部方面線接続後に予想される旅客等の変化と、横浜の玄関口としてお客様を快適な空間でお迎えできるよう、レイアウト変更や内装改修を行うものです。
 ついては、平成30年度からの工事では手洗所改修などのバリアフリー設備の充実や老朽化した設備等の更新を行い、平成32年度(予定)からは神奈川東部方面線との接続に伴う改修工事を実施します。
 本件は、上記改修工事のうち、タイル補修にかかる費用を計上するものです。

< 年次計画 > 単位:千円

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
				オリンピック		ST線開業
基本設計	基本設計					
実施設計		実施設計				
工事(前期工事)			工事			
工事(前期その2工事)			工事			
工事(後期工事)					工事	
工事費	-	3,073			-	-

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,041					
債務負担設定	3,988					3,988

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：33 建物修繕費	所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
18 昇降機保守委託事業(BL)	192,919

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に
従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。
なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約(定期点検のほか
補修・緊急対応を含む)とし、お客様へのご不便を軽減させます。

○内訳

①-1 エレベーター		②-1 エスカレーター		備考
項 目	台数	項 目	台数	
BL32駅+2基地エレベーター点検保守	80	BL27駅エスカレーター点検保守	125	
合 計	80	合 計	125	
①-2 エレベーター		②-2 エスカレーター		
項 目	台数	項 目	台数	
BL2駅エレベーター清掃	2	BL3駅エスカレーター清掃	9	
合 計	2	合 計	9	

○契約年表

	29年度	30年度	31年度	32年度	32年度	33年度
新羽駅ほか12駅		3年契約			3年契約	
戸塚駅ほか3駅		3年契約			3年契約	
中川駅		3年契約			3年契約	
関内駅ほか7駅	1年契約	3年契約			3年契約	
センター南駅ほか8駅及び1か所	1年契約	3年契約			3年契約	
下飯田駅ほか2駅	1年契約	3年契約			3年契約	
阪東橋駅ほか2駅及び1か所	1年契約	1年契約	3年契約			3年契約
北新横浜駅ほか1駅	1年契約	1年契約	3年契約			3年契約

(2 前年度から変更・見直した点)

順次、単年契約から複数年契約へ移行

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

「建築基準法」法定点検 年1回

「昇降機の維持及び運行の管理に関する指針」定期点検 月1回

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	204,029	192,919	229,648	212,190	192,919	1,031,705
債務負担設定	182,466	25,160	223,229	189,765	25,160	645,779

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
19 排水槽その他清掃業務委託	18,246

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	58か所	排水槽清掃 5か所(1回/年)
		汚水槽清掃 43か所(2~6回/年)
		中水槽清掃 11か所(1回/年・1回/3年)
受水槽清掃業務委託	9か所	受水槽清掃 9か所(1回/年)
浄化槽維持管理委託	1か所	浄化槽清掃 1か所(1回/年)

(2 前年度から変更・見直した点)

- 1 排水槽清掃・・・水槽内へ流入するヘドロ状の汚泥水が近年山砂に変わったため残土搬出量が増えた。
- 2 中水槽清掃・・・3年に1回の清掃を行うか所追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

汚水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」
 受水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」、
 「水道法施行規則」、「横浜市簡易専用水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的飲料水の
 確保に関する条例施行規則」
 浄化槽:「浄化槽法」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	15,077	18,246				33,323
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
20 高速鉄道機械設備等保守委託事業	60,806

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法状態に維持管理します。

○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	34か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年4回+冷凍機運転監視
換気設備	34か所	排気送風機 年2～3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	35か所	電気温水器、排水ポンプ 年1～2回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成29～30年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額
- ・新設冷房付待合所(蒔田駅、港南中央駅)の保守点検を追加(空調設備)
- ・ターボ冷凍機の化学洗浄(上大岡、戸塚、湘南台)を追加(空調設備)
- ・パネル形フィルター(上大岡駅、三ツ沢上町駅、片倉町駅、戸塚駅、舞岡駅、下永谷駅)の交換を追加(換気設備)
- ・冷凍機運転監視期間を1か月追加(空調設備)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	50,337	60,806				111,143
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
21 防災設備保守委託事業	21,102

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	34か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、 消火器、泡消火、CO2消火、粉末消火、排煙 防火シャッター 年2回 消火栓ホース、連結送水管耐圧試験 3年検査 電動トグライト、防火戸、垂れ壁、排煙ホーラー 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・シャッターの保守点検業務を分け、『建9 駅施設シャッター等保守点検委託事業』で予算要求
- ・総合連動試験を1回／年から2回／年に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法及び消防施行規則

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	35,450	21,102				56,552
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
22 排水ポンプ他重要設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	46か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回 信号機器室系空調機 年4回

(2 前年度から変更・見直した点)

・平成29～30年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	13,770					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
23 除害施設保守委託事業	9,777

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
車両基地除害施設	3 か所	保守点検 年 4 回
		清掃・処分 年 2 回

(2 前年度から変更・見直した点)

・平成30年度決算見込額をベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	9,686	9,777				19,463
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
24 風水害対策設備保守委託事業	22,172

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。また、経年劣化に伴い、鶴見川防水扉の制御盤内機器の交換を行います。

○保守点検内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
浸水防止機	44か所	上大岡から吉野町間通風口 年1回
鶴見川防水扉	2か所	新横浜から北新横浜間4門 年2回
気象観測装置	4か所	地震計、風向風速計、雨量計 年1回

○鶴見川防水扉 盤内機器交換

	盤数	交換機器
防水扉（新横浜方）	1面	電磁接触器、補助継電器、タイマー
防水扉（北新横浜方）	2面	

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・気象観測装置保守点検委託契約を3年契約に変更
- ・浸水防止機保守点検委託は平成31年契約金額を計上(3年契約の3年目(1,912千円))
- ・防水扉保守点検委託は平成31年契約金額を計上(3年契約の2年目(2,322千円))
- ・鶴見川防水扉の制御盤内機器の交換を追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・横浜市高速鉄道運転取扱規程(防水扉、気象観測装置、浸水防止機)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	5,326	22,172	5,593	5,593	5,593	44,277
債務負担設定	4,448	2,562	3,894	4,730	2,562	18,196

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
25 修繕作業費	54,293

(1 事業目的・内容)

ブルーライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧

各年度実績表

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
71,228	55,461	44,852	54,293
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

H29年度 修理実績計上のため、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	44,852	54,293				99,145
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
26 防災設備改修工事	59,355

(1 事業目的・内容)

駅には、各所で発生した火災の延焼を防止するための防火区画が設定されています。その防火区画壁または床を貫通する換気等のダクトには、防火ダンパーを設置することが法令上規定されています。防火ダンパーの多くは、開業当初から設置されているもので定期点検時に調整や応急措置を行ってまいりましたが、著しい錆の発生が見られ、ダンパー軸が固着している箇所や完全な遮閉ができない箇所があります。修理では機能回復が困難なため、本体の更新を行い、万一の火災発生時に延焼の拡大にならないよう安全を確保します。

防火ダンパー更新計画

駅名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
桜木町駅(15)	設計	工事					
片倉町駅(78)							
戸塚駅(50)		設計	工事				
舞岡駅(24)							
下永谷駅(14)							
湘南台駅(44)							
下飯田駅(1)							
立場駅(18)			設計	工事			
中田駅(13)							
踊場駅(19)							
片倉町駅(10)							
上永谷基地検車区							
あざみ野駅(43)						設計	
中川～北新(31)							
岸根公園駅(31)					設計		
新横浜駅(18)							
新横浜中間(18)							
設計費	2,197	2,123	2,498				
工事費	47,625	46,016	54,147				
計	49,822	48,139	53,813	59,355			

(2 前年度から変更・見直した点)

・防火ダンパー更新対象駅のダンパー更新数量が増加。(H29:93台、H30:88台、H31:104台)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	53,813	59,355				113,168
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
--------	---------

27 空調熱源機器分解整備

(1 事業目的・内容)

ブルーライン駅及び車両基地に設置している、駅冷房用及び職員諸室空調用大型熱源機の分解整備を計画的に実施し、故障防止を図ることで、夏季冷房シーズンなどの駅環境及び執務環境を維持します。

熱源機器は、ターボ冷凍機、冷温水発生機、チリングユニットを軸として、冷却塔・循環ポンプ・ファンコイルユニット等で設備構成しています。供用開始または分解整備後から運転時間を経過した大型熱源機は、日常点検で確認ができない機器内部に摩耗や汚れ等の劣化が進み、運転性能の低下を招くため、定期的な本体分解整備が不可欠です。製造メーカーが推奨する分解整備の時期(7年)を超えており、大型熱源機に突発的な故障が発生した場合、ホーム等駅冷房部や駅務諸室などに多大な影響を及ぼし、お客さまサービスの低下や職員の執務環境の低下を招きます。このため、運転時間を経過した熱源機器類の分解整備を順次行います。

(1) ターボ冷凍機・冷温水発生機 分解整備

実施年度	30年度	31年度	32年度
場所・機器名	戸塚(駅冷房用)※H7年設置	湘南台(駅冷房用)※H11年設置	—
	ターボ冷凍機1台・冷却塔・循環ポンプ	ターボ冷凍機1台・冷却塔・循環ポンプ	—

(2) 冷却塔等 分解整備

実施年度	30年度	31年度	32年度
場所・機器名	—	—	—
	—	—	—

(2 前年度から変更・見直した点)

整備対象機器の減少

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	45,397					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	196,285	131,107	65,178

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料補充事業(営繕分)	237

(1 事業目的・内容)

グリーンラインでの直営作業による修理に必要な作業用具・材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。

【主な補充材料】

蓄光誘導標識修理・鉄部補修用ペンキ類・粘着剥離剤・トイレブース部品等。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
182	242	272	282	237
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	268	237				505
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 材料補充事業(機械分)	395

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各種設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。

※購入機材：お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等

各年度実績表

平成29年度	平成30年度	平成31年度
410	390	395

※実績 ※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	390	395				785
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
3 駅施設等建築修繕工事	7,254

(1 事業目的・内容)

【駅施設等建築修繕工事】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
5,901	1,503	6,196	5,886	
※実績	※実績	※実績	※予算	

【駅施設等修理(1件修理)】

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)で発生する工事発注未済の小規模な修理を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
237	2,030	1,200	698		1件修理
※実績	※実績	※実績	※予算		

30年度	31年度	駅評価対応
570		
※実績		

項 目	H31年度
駅施設建築修繕工事	
駅施設等修理(1件修理)	
駅評価対応修理	
計	7,254

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	6,584	7,254				13,838
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 サイン等製作及び設置業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、盤面の製作、貼付け等の業務委託を行います。

(千円)

	H30	H31
BL	2,494	
GL	831	
計	3,325	

※予算

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	831					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
5 漏水受樋取付工事	

(1 事業目的・内容)

地下駅や地上高架下部等では、土木躯体より漏水が発生し、接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施するものです。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

28年度	29年度	30年度	31年度
905	2461	6266	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	6,266					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
6 竖排水管清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水(湧水等)を処理するための竖排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水による異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。
このため、本委託業務では、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な駅排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

28年度	29年度	30年度	31年度
751	773	967	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	967					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事業内容 】 31年度予算額

7 駅施設等屋根清掃委託

(1 事業目的・内容)

本業務は、通常点検を行えない変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

[委託内容]

- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬

28年度	29年度	30年度	31年度
40	46	88	
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	88					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
8 自動ドア点検業務委託	746

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
/	/	618	679	746
		※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	679	746				1,425
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
9 駅施設シャッター修理	364

(1 事業目的・内容)

グリーンライン地下鉄各施設(10駅・3変電所・1車両基地)のうち駅施設の出入口管理シャッター・潜り戸・電動トップライト排煙窓等の定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
22	497	441	193	364
※実績	※実績	※実績	※決算見込	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	183	364				547
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：33 建物修繕費	所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
10 自動ドア修理	65

(1 事業目的・内容)

グリーンライン10施設24か所の自動ドアの定期点検結果に基づき、不具合箇所を修理します。

(修理費の推移)

28年度	29年度	30年度	31年度
65	43	94	65

※実績

※実績

※決算見込

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	89	65				154
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費 節・細節：33 建物修繕費	所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
11 壁面タイル補修工事	

(1 事業目的・内容)

平成25年度に実施した地下鉄全駅の壁面タイル打診調査において、各駅に部分的な壁面タイルの浮きが複数箇所発生していることが確認されました。そこで、お客様の安全を確保するため、グリーンライン7駅の壁面タイル補修工事を実施します。

工事費

単位：千円

	H27	H28	H29	H30	H31
蒔田、弘明寺、港南中央、戸塚	設計		工事		
伊勢佐木長者町、吉野町、上大岡、 中田中間換気塔		設計	工事		
横浜、高島町、桜木町、上永谷、下永谷、舞岡、踊場、 高島町運転事務室ほか改修、 横浜駅出入口階段壁塗装		設計	工事		
中川、仲町台、新羽、北新横浜、岸根公園、片倉町、 三ツ沢上町、三ツ沢下町、中田、立場、下飯田、湘南台、 矢沢中間換気所、吉田中間換気所、 関の下中間換気所、伊勢佐木長者町駅換気塔			設計	工事	
中山、川和町、都筑ふれあいの丘、 北山田、東山田、高田、日吉			設計		工事
工事費		42,680	157,434		
		48,010	91,723		
			156,363		
				207,404	
計		90,690	405,520	207,404	
		※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

中期経営計画では、グリーンライン各駅のタイル補修工事について、平成30年度に工事を実施する予定でしたが、平成31年度の実施に変更しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

平成20年3月10日国土交通省告示第282号(平成28年4月25日改正)
上記告示により、10年毎に打音検査等による壁面タイルの劣化調査が義務づけられています。

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
12 新羽駅ほか改修工事	

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応することができなくなってきている各駅及び保守管理所の修繕事項をまとめて平成30年度に設計を行い、平成31年度に工事を行います。

○改修内容

- ① 川和駅電気室、信号機器室漏水対策
- ② 川和保守管理所総合事務所、屋上防水

	H30	H31
設計	1,327	—
工事	—	

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

13 片倉町駅ほか改修工事(設計)

(1 事業目的・内容)

老朽化が進み、部分的な補修では対応できなくなっている各駅、変電所及び保守管理所の修繕事項をまとめて平成31年度に設計を行い、平成32年度に工事を行います。

○改修内容

- ①川和検車庫床割れ補修
- ②川和乗務管理所会議室壁面漏水対策
- ③日吉駅天井漏水対策(第1出入口)、側溝改修
- ④都筑ふれあいの丘駅床滑り止め
- ⑤川和町駅建具更新工事(信号扱所)

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
14 建具更新工事	

(1 事業目的・内容)

建具更新工事は、各駅その他施設に設置している扉や窓について、腐食の進行や老朽化により、修理対応では調整が不可能となった箇所の更新を行うものです。

【更新履歴】

年度	該当施設	か所数	金額(千円)	備考
28	—	0	—	
29	—	0	—	
30	—	0	—	
31	川和町駅	1		

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
15 駅施設シャッター等保守点検委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各施設(8駅・1変電所・1車両基地)の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても、施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項 目	点検回数	H31予定数量
シャッター	年1回	115か所
電動トップライト	年1回	0か所
防火戸	年1回	21か所
垂れ壁	年1回	12か所
排煙オペレーター	年1回	14か所

(2 前年度から変更・見直した点)

防災設備保守委託事業からシャッター等保守点検委託を分け、予算要求。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
17 排水槽その他清掃業務委託	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽・浄化槽を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に
従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	10か所	汚水槽清掃 10か所(1回/年)
受水槽清掃業務委託	-	なし
浄化槽維持管理委託	-	なし

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)
汚水槽:「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,935					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位：千円)

【事業内容】	31年度予算額
18 高速鉄道機械設備等保守委託事業	12,498

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法な状態に維持管理します。

○内訳

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	11か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年2回+冷凍機運転監視
換気設備	11か所	排気送風機 年2～3回、フィルター 年1回
給排水・給湯設備	9か所	電気温水器、排水ポンプ 年1～2回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成29～30年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額
- ・冷凍機運転監視期間を1か月追加(空調設備)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	12,123	12,498				24,621
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
19 防災設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

○内訳

	設置場所	主な設備及び点検周期
防災設備	9か所	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、粉末消火、排煙、防火シャッター、年2回シャッター、防火戸、垂れ壁、排煙ハレーター 年1回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・シャッターの保守点検業務を分け、『建13 駅施設シャッター点検業務委託事業』で予算要求
- ・総合運動試験を1回／年から2回／年に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・消防法及び消防施行規則

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	6,994					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
20 排水ポンプ他重要設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	11か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ 年2回 信号機器室系空調機 年4回

(2 前年度から変更・見直した点)

・平成29～30年度設計金額ベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

・厚生労働省令「建築物における衛生的環境の維持管理について」

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	2,942					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 33 建物修繕費	所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
21 除害施設保守委託事業	2,502

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
		保守点検 年4回 清掃・処分 年2回
車両基地除害施設	1 か所	

(2 前年度から変更・見直した点)

・平成30年度決算見込額をベースで予算算出した結果、増額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	2,307	2,502				4,809
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
22 風水害対策設備保守委託事業	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

○内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
気象観測装置	1 か所	地震計、風向風速計、雨量計 年 1 回

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・平成30年度決算見込額をベースで予算算出した結果、減額
- ・気象観測装置保守点検委託契約を3年契約に変更

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

- ・横浜市高速鉄道運転取扱規程(気象観測装置)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	428					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 33 建物修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 建築課 担当者: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
23 修繕作業費	10,628

(1 事業目的・内容)

グリーンライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

* 主な修繕内容

- ・ 空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
- ・ 送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
- ・ 給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧

各年度実績表

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
12,809	10,769	19,728	10,628
※実績	※実績	※予算	

(2 前年度から変更・見直した点)

H29年度 修理実績計上のため、減額

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	19,728	10,628				30,356
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 節・細節：33 建物修繕費	項：01 営業費用 目：10 線路保存費 所属：建築課 担当者：倉本、三宅、森

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
24 空調熱源機器分解整備	

(1 事業目的・内容)

グリーンライン駅及び車両基地に設置している、駅冷房用及び職員諸室空調用大型熱源機の分解整備を計画的に実施し、故障防止を図ることで、夏季冷房シーズンなどの駅環境及び執務環境を維持します。

熱源機器は、ターボ冷凍機、冷温水発生機、チリングユニットを軸として、冷却塔・循環ポンプ・ファンコイルユニット等で設備構成しています。供用開始または分解整備後から運転時間を経過した大型熱源機は、日常点検で確認ができない機器内部に摩耗や汚れ等の劣化が進み、運転性能の低下を招くため、定期的な本体分解整備が不可欠です。製造メーカーが推奨する分解整備の時期(7年)を超えており、大型熱源機に突発的な故障が発生した場合、ホーム等駅冷房部や駅務諸室などに多大な影響を及ぼし、お客さまサービスの低下や職員の執務環境の低下を招きます。このため、運転時間を経過した熱源機器類の分解整備を順次行います。

(1) ターボ冷凍機・冷温水発生機 分解整備

実施年度	30年度	31年度	32年度
場所・機器名	-	-	-
	-	-	-

(2) チリングユニット 分解整備

実施年度	30年度	31年度	32年度
場所・機器名	-	中山(駅冷房用)※H20年度設置	-
	-	空冷チラー1台	-

(2 前年度から変更・見直した点)

GL整備対象機器の増加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費						
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額		416	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
1 上永谷施設区庁用車 材料費	29

(1 事業目的・内容)

庁用車の部品を購入する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

自動車車両ドライブレコーダー・バックカメラを30年度1台取付

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	79	29				108
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井
項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
-------------	---------

2 上永谷施設区庁用車 車検・法定点検

(1 事業目的・内容)

応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。

- ・国土交通省令に基づく点検
車検及び法定点検 3台(応急車2台・庁用車1台)

○ 積算【単価は直近実績に基づき、老朽化を考慮し算出した。】

(2 前年度から変更・見直した点)

横浜500た7452(スターレット)平成31年10月 車検満了時 廃車予定

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	287					
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 上永谷保守管理所 担当者: 平塚、坪井

(単位: 千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 上永谷施設区庁用車 修理費	48

(1 事業目的・内容)

庁用車を修理する費用。

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	50	48				98
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増減(A-B)
予 算 額	1,179	1,804	△ 625

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 自動車整備 部品材料	76
中期経営計画 -	
<p>(1 事業目的・内容)</p> <p style="padding-left: 20px;">緊急の自動車整備に必要な部品・材料を購入するための新羽保守管理所長に前渡する資金【施設区】</p> <p style="padding-left: 20px;">自動車車両ドライブレコーダー・バックカメラ【設備区】</p> <p>(2 前年度から変更・見直した点)</p> <p>(3 根拠法令・規程、「現場の意見」等)</p> <p style="padding-left: 20px;">前渡資金があれば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える【施設区】</p> <p style="padding-left: 20px;">ドライブレコーダー及びバックカメラの設置により安全性が向上し障害現場に円滑に急行することができる【設備区】</p>	

平成31年度 修繕費 事業計画書

予算科目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 新羽保守管理所 担当者: 幸田

(単位:千円)

【事業内容】	31年度予算額
2 自動車等整備・修理	1,103

中期経営計画

(1) 事業目的・内容

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
エキスパート 400せ3518	1年				
キャラバン 800つ19	1年				
新車	2年				
高所作業車 800そ5798	2年				
ノア 500つ1209	2年				
新車(軽自動車)	2年				
キャラバン 400ふ4335	1年				
ボンゴ 400ほ1572	1年				
高所作業車クレーン部 デットロ	毎年				
合 計					810

自動車修理	計
自動車修理	随時
	130

機器類修理	計
酸素欠乏等の危険個所測定器の校正	随時
	95

ミニ地下鉄修理	計
ミニ地下鉄修理	随時
	48

衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	計
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理	随時
	20

(2) 前年度から変更・見直した点

なし

(3) 根拠法令・規程、「現場の意見」等

応急車点検整備＝道路運送車両法(第62条)に基づく継続検査

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	525	450	75

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 その他修繕 部品材料 川和施設区	29

(1 事業目的・内容)

緊急のその他修繕に必要な部品・材料を購入するため川和保守管理所長に前渡する資金

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

前渡資金が有れば、速やかに部品・材料を購入し修繕作業を行える

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	30	29				59
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 川和保守管理所 担当者: 高橋

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 自動車点検整備・修理	496

(1 事業目的・内容)

庁用車について、法令に基づく車両検査及び故障等の修理を実施するものです。
国土交通省令に基づく点検
○横浜800そ7025(アトラス)1台
○横浜480そ707(エブリイ)1台
○横浜400み1270(キャラバン)1台

(2 前年度から変更・見直した点)

なし

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	420	496				916
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	28,066	26,290	1,776

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

(単位: 千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
1 材料補充	105

(1 事業目的・内容)

緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用

(2 前年度から変更・見直した点)

前年度まで購入していた直営作業に使用する材料等は各保守管理所の管理係で購入になりました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	812	105				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
2 自動車点検整備等	409

(1 事業目的・内容)

フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。

- ・厚生労働省令に基づく点検
 特定自主点検 フォークリフト 2台
- ・フォークリフトの緊急修理費

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・高所作業車(架装部)については、31年度より各保守管理所の管理係に移行しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	466	409				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 節・細節: 39 その他修繕費	所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
3 工事車両点検整備等	27,366

(1 事業目的・内容)

- 工事用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。
- ・工事用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
 - ・工事用車両年次点検整備(乙検):年1回
 - ・工事用車両ブレーキ調整:制輪子のストロークが規定値以下に摩耗後、随時交換
 - ・機材運搬車修理:機材運搬車(トロ)の点検及び修理費
 - ・工事用車両修理:突発的な故障時の修理に対応
 - ・工事用車両クレーン自主点検:C型モーターカーのクレーンの自主点検

○積算(単価及び数量は実績による)

年次点検及びオーバーホールは以下の予定表に従い行う。

種別	型番	使用年数	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
モーターカー A型	A-5	27年	廃車				
	A-6	27年				廃車	
	A-7	27年					廃車
	A-8	27年			廃車		
モーターカー C型	C-2	30年	廃車				
	C-4	27年	廃車				
	C-5	12年					OH3
	C-7	8年				OH2	
	C-8	7年		OH1			
	C-9	5年					
	C-10	1年				OH1	
	C-11	1年				OH1	
	C-12	-	年納車				
C-13	-	年納車					
作業台車	No.4	26年		廃車			
	No.7	8年					
	No.8	5年					
	No.9	3年					
	No.10	2年					
	No.11	0年					
軌道清掃車(超高压)	No.2	8年			廃車		
道床清掃車	No.3	8年					
ダンプトロ	D-10,11,12	21年		廃車			
レール運搬車	TR-4,5,6	4年					
軌道検測車	B-トラ	4年		OH1			
建築限界車	No.3	12年					

(2 前年度から変更・見直した点)

機材運搬車の修理を追加しました。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	24,843	27,366				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事業内容 】	31年度予算額
4 その他機器点検整備等	186

(1 事業目的・内容)

直営作業で使用する測量機器や計測機器類の点検、校正費用
水準測定器、列車動揺測定器、自動塗油装置点検整備

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事業費	169	186				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減(A-B)
予 算 額	34,308	22,953	11,355

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額					
1 材料補充	115					
(1 事業目的・内容)						
緊急で必要になった材料の購入、及び修理費用						
(2 前年度から変更・見直した点)						
前年度まで購入していた直営作業に使用する材料等は管理係に移行になりました。						
(3 根拠法令・規程、現場の意見等)						
(4 年次表)						
	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	414	115				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
2 自動車点検整備等	204

(1 事業目的・内容)

- フォークリフト等の法定点検及び緊急修理を行うものです。
- ・厚生労働省令に基づく点検
 特定自主点検 フォークリフト 1台
 - ・フォークリフトの緊急修理費

(2 前年度から変更・見直した点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	201	204				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
3 工車用車両点検整備等	31,625

(1 事業目的・内容)

工車用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。

- ・工車用車両分解整備(オーバーホール):原則6年周期
- ・保守用車両修理及び改造:道床清掃車の噴射ノズル及び配管系統の改造
15t口のブレーキ調整及び高圧ホース劣化による交換
- ・工車用車両年次点検整備(乙検):年1回
- ・工車用車両クレーン自主点検:C型モーターカーのクレーンの自主点検
- ・工車用車両ブレーキ調整:工車用車両のブレーキ調整
- ・工車用車両修理:突発的な故障時の修理に対応

○積算(単価及び数量は実績による)

- ・年次点検及びオーバーホールの5年間の計画について

OH:オーバーホール(分解整備)数字はその車両のオーバーホールの通算回数

種別	型番	使用年数	31	32	33	34	35
モーターカーA型	A-9	8年					OH2
モーターカーC型	C-6	12年	OH2				
作業台車	No.6	9年					
軌道清掃車	No.1	9年					OH2
軌道検測車	G-tra	10年				OH2	
15t口	T-7	12年					

(2 前年度から変更・見直した点)

- ・30年度計画していたモーターカー(C-6)の分解整備はモーターカー運用計画の変更により、31年度に実施します。
- ・分解整備に伴い、ブルーラインで運用中のモーターカー(C-5)をオーバーホール中にグリーンラインで運用するため、上永谷車両基地と川和車両基地間の往復の運搬費を追加しました。
- ・15t口の高圧ホースの劣化に伴い交換を実施。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	20,968	31,625				
債務負担設定						

平成31年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 節・細節: 39 その他修繕費	項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費 所属: 施設課 担当者: 内田、甲州

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	31年度予算額
4 その他機器点検整備等	2,364

(1 事業目的・内容)

直営作業等で使用する測量や計測機器類の点検費用
水準測量器、列車動揺測定器、摩擦調整材塗布装置の点検
摩擦調整材塗布装置バッテリーレス化
自動塗油装置点検整備
レール断面測定器の校正、修理
ギャップゲージ調整

(2 前年度から変更・見直した点)

レール断面測定器の校正を追加
ギャップゲージの調整を追加
摩擦調整材塗布装置のバッテリーレス化を2台分追加

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(4 年次表)

	30年度予算	31年度予算	32年度予定	33年度予定	34年度以降	総 額
事 業 費	1,370	2,364				
債務負担設定						

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属： 人事課
目：10 線路保存費	担当者名： 星野

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	5,107	0	5,107

	ブルーライン
	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	5,107	線路保存費支弁職員に対する被服貸与分(新規採用・異動・定期貸与)
合 計	5,107	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 人事課
目: 10 線路保存費	担当者名: 星野

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B		
予算額	504	3,887	△ 3,383	○	ブルーライン
					グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
63 委託料	504	身体機能検査(上永谷保守管理所・新羽保守管理所)等
合 計	504	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 事業開発課
目: 10 線路保存費	担当者名: 二宮

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	15	195	△ 180

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
57 通信運搬費	11	旧牛久保厚生会館ケーブルネット使用料
68 保険料	4	旧牛久保厚生会館に係る市有物件災害共済会保険料
合 計	15	

(2 編成するにあたっての考え方)

29年度決算、30年度見込み等をもとに計上

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属： 上永谷保守管理所 担当者名： 今野 坪井 平塚

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	6,610	6,856	△ 246

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	728	MC燃料(軽油)、レール清掃車ボイラー燃料(灯油)、保守用ウエス ほか
45 自動車燃料費	473	緊急自動車・庁用車用ガソリン及び軽油(軽油引取税)
49 備用品費	1,280	共通・小額物品、皮手、軍足、トイレトペーパー、テキスト代、新規採用者備品等
51 光熱水費	1,251	ガス料金、上・下水道料金、灯油(雪害対策用)
56 旅費	400	市内・市外出張旅費、立会検査旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	136	電話料金、切手代
63 委託料	889	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	419	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	588	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	266	緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠償保険料
73 自動車重量税	60	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	120	有料駐車場代
合 計	6,610	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 新羽保守管理所
目: 10 線路保存費	担当者名: 幸田

(単位: 千円)

	31年度 A	30年度 B	増 減 A - B
予算額	19,082	17,667	1,415

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂系屑費	410	軽油、灯油、タオルウエス
45 自動車燃料費	1,120	庁用車用ガソリン・軽油
49 備用品費	3,746	小額物品、事務及び作業用備品・消耗品、工具類
51 光熱水費	5,715	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	496	市外・市内出張旅費、技能取得講習・資格取得講習・研修・工場立会検査ほか
57 通信運搬費	503	電話料金、切手代
60 負担金	40	高圧ガス協会年会費
63 委託料	2,600	建物清掃、廃棄物処理委託
64 手数料	1,849	技能取得講習・資格取得講習・研修受講料、庁用車車検印紙代
65 賃借料	1,439	寝具賃借料・複写サービス料
68 保険料	519	庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	115	庁用車重量税
96 雑費	530	有料駐車場利用料
合 計	19,082	

(2 編成するにあたっての考え方)

実績を基に算出

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目		担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	所属: 新羽保守管理所
目: 10 線路保存費		担当者名: 幸田

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増 減 A - B
予算額		102	

	フルライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積算額	積算項目
49 備用品費	10	小額物品
64 手数料		高圧ガス法定検査費(中山駅、日吉駅)
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

実績を基に算出

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用	所属: 川和保守管理所
目: 10 線路保存費	担当者名: 高橋

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	7,148	5,961	1,187

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
42 油脂糸屑費	585	軽油、ウエス
45 自動車燃料費	522	庁用車の燃料
49 備用品費	2,606	小額物品、共通物品等
51 光熱水費	669	水道代、白灯油
56 旅費	281	出張旅費
57 通信運搬費	102	電話料金、切手代等
63 委託料	875	建物清掃委託、産廃収集運搬及び処理等
64 手数料	613	各種講習会受講料及び各種免状交付料
65 賃借料	509	寝具及び複写機賃借料
68 保険料	271	庁用車自賠責保険料及び任意保険料
73 自動車重量税	65	庁用車自動車重量税
96 雑費	50	有料駐車場代
合 計	7,148	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所 属： 施設課
目：10 線路保存費	担 当 者 名： 長窪

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額		86,993	

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
41 資産減耗費		工事用車両引取り処分
60 負担金	1,135	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	107,852	除草作業、軌道管理システム保守管理業務委託ほか
68 保険料	2,580	建物総合損害保険料、公営地下鉄団体土木構造物
96 雑費	84	自動車借上げ費用(個人分)
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

実績及び見積等をもとに算出。
消費税10%にて計上。

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用	所属：施設課
目：10 線路保存費	担当者名：長窪

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B		
予算額		12,033			ブルーライン
					○ グリーンライン
					共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
60 負担金	411	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	13,171	除草作業、軌道管理システム保守管理業務委託ほか
68 保険料		公営地下鉄団体土木構造物
96 雑費	27	自動車借上げ費用(個人分)
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

実績及び見積等をもとに算出。
消費税10%にて計上。

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 建築課 担当者名: 倉本、三宅、森

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額		16,203	

<input type="radio"/>	ブルーライン
<input type="radio"/>	グリーンライン
<input type="radio"/>	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	1,702	非常機材補充事業
63 委託料		非常機材点検委託等
合 計		

(2 編成するにあたっての考え方)

- (3 新規項目・主要事業等)
- 49 備用品費
 - ・非常機材補充事業
 - 63 委託料
 - ・非常機材点検委託等

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 建設改良課 担当者名: 早川

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B		
予算額	590	16,754	△ 16,164		<input type="radio"/> ブルライン <input type="radio"/> グリーンライン <input type="radio"/> 共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
57 通信運搬費	140	LAN回線使用料
61 会議費	14	ST線検討会議飲料代
64 手数料	340	特別調査
66 諸謝金	96	ST線検討会議
合 計	590	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

平成31年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担 当
款：02 高速鉄道事業費 項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属：新横浜工事事務所 担当者名：吉本

(単位:千円)

	31年度 A	30年度 B	増△減 A - B
予算額	16,374	0	16,374

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備用品費	1,197	コピー用紙、書籍、事務用品等
51 光熱水費	410	電気代、水道代
56 旅費	747	出張旅費
57 通信運搬費	170	電話回線使用料
58 印刷製本費	141	パンフレット等印刷
61 会議費	15	ST線検討会議
63 委託料	5,420	複写サービス、事務所清掃等
64 手数料	321	Web建設物価使用料、講習会日等
65 賃借料	7,899	事務所賃借料
68 保険料	54	火災保険、賠償責任保険
合 計	16,374	

(2 編成するにあたっての考え方)

平成30年実績を参考に算出しました。

(3 新規項目・主要事業等)